経済学・経済政策

2025年合格目標 TAC教材

1次完成答練①第2問

ある経済には、農産物Aと農産物Bの2つがあり、それぞれの価格と数量は下表のとおりとする。2023年を基準年とするとき、この設例に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。 2

	農産物A		農産物B	
	価格	数量	価格	数量
2023年	120円	100個	150円	40個
2025年	135円	80個	160円	50個

a　パーシェ式は基準時点の数量を基準として物価を計算する方法である。
b　2025年の実質GDPは18,800円である。
c　2025年の物価指数（パーシェ式）は、110を下回る。

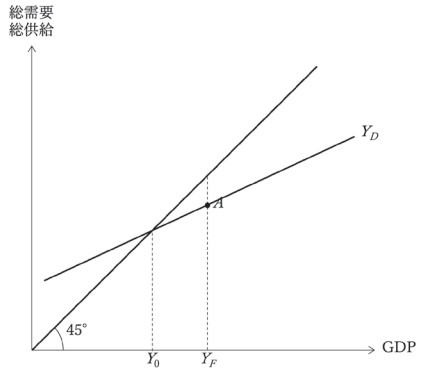
〔解答群〕
ア　a：正　b：正　c：正
イ　a：正　b：誤　c：正
ウ　a：誤　b：正　c：正
エ　a：誤　b：正　c：誤
オ　a：誤　b：誤　c：正

1次上級答練第15問（設問1）

家計、企業、政府から構成される閉鎖経済モデルを考える。各記号は、Y_D:総需要、Y:GDP、C:民間消費支出、I:民間投資支出、G:政府支出、T:租税収入、c:限界消費性向、C_0:独立消費を意味する。

総需要　$Y_D = C + I + G$
消費関数　$C = c\ (Y - T) + C_0$

総需要と均衡GDPの関係は、下図のような45度線図によって表すことができる。なお、Y_Fは完全雇用GDPを表す。
この図に基づいて、下記の設問に答えよ。



（設問1）
この図に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切な組み合わせを下記の解答群から選べ。 16

a　限界貯蓄性向が上昇すると総需要線は緩やかに描かれる。
b　租税収入を増加すると、均衡GDPは増加する。
c　線分Y0YFに相当するデフレギャップが発生している。

〔解答群〕
ア　a：正　b：正　c：正
イ　a：正　b：正　c：誤
ウ　a：正　b：誤　c：誤
エ　a：誤　b：正　c：正
オ　a：誤　b：誤　c：誤

令和7年度 中小企業診断士1次試験

本試験第5問

2種類の財（X財とY財）の数値例で物価指数を計算する。これらの財の単位当たりの価格と数量は、それぞれ以下の表のとおりである。基準年の物価指数を100とした場合、比較年の物価指数として、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

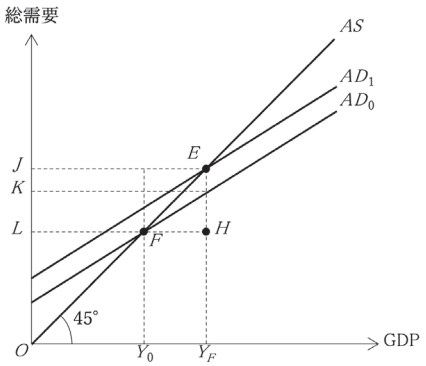
	X財		Y財	
	価格	数量	価格	数量
基準年	10	5	5	10
比較年	12	5	6	9

〔解答群〕
ア　ラスパイレス指数では95、パーシェ指数では114。
イ　ラスパイレス指数では114、パーシェ指数では95。
ウ　ラスパイレス指数では114、パーシェ指数では120。
エ　ラスパイレス指数では120、パーシェ指数では95。
オ　ラスパイレス指数では120、パーシェ指数でも120。

本試験第7問

下図は45度線図である。この図において、Y_0は現実のGDP、Y_Fは完全雇用GDPであり、総需要AD、総供給ASは、それぞれ以下のように表されるとする。

総供給　$AS = Y$
総需要　$AD = C + I + G$
消費関数　$C = C_0 + c(Y - T)$
ただし、Cは消費支出（消費関数）、Iは投資支出、Gは政府支出、C_0は基礎消費、cは限界消費性向（$0 < c < 1$）、YはGDP、Tは租税である。



この図に基づいて、下記の設問に答えよ。

（設問1）
この図に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

a　完全雇用GDP水準における総供給の大きさは、OJに等しい。
b　現実のGDP水準における総需要の大きさは、OKである。
c　デフレ・ギャップの大きさは、JKである。
d　限界消費性向の大きさは、$\frac{EH}{FH}$である。

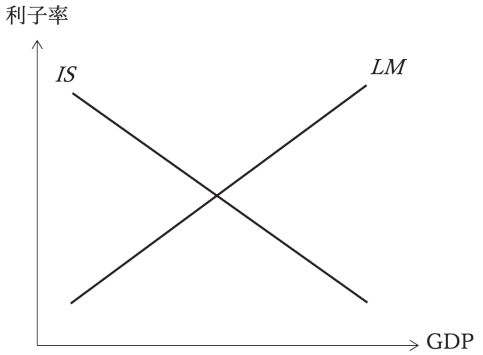
〔解答群〕
ア　a：正　b：正　c：正　d：誤
イ　a：正　b：正　c：誤　d：正
ウ　a：正　b：誤　c：正　d：誤
エ　a：誤　b：正　c：正　d：誤
オ　a：誤　b：正　c：誤　d：正

1次公開模試第5問

b　名目利子率を一定とすると、インフレーションは実質利子率の低下をもたらし、投資を促進させる。

1次養成答練　第17問

財政政策や金融政策の効果を考えるにあたり、*IS* − *LM* 分析は重要である。以下の設問に答えよ。



（設問1）

IS 曲線に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。 17

a　*IS* 曲線の下側の領域では、貨幣市場は超過需要となる。
b　限界消費性向が大きいほど、*IS* 曲線の傾きはより緩やかになる。
c　増税によって *IS* 曲線は右方へシフトする。

〔解答群〕
ア　a：正　b：正　c：正
イ　a：正　b：正　c：誤
ウ　a：正　b：誤　c：正
エ　a：誤　b：正　c：誤
オ　a：誤　b：誤　c：誤

（設問2）

LM 曲線に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。 18

a　*LM* 曲線の下側の領域では、貨幣市場は超過需要となる。
b　投資の利子率弾力性が大きいほど、*LM* 曲線の傾きはより緩やかになる。
c　流動性のわなは貨幣需要の利子率弾力性が無限大であるため、*LM* 曲線は水平に描かれる。

〔解答群〕
ア　a：正　b：正　c：正
イ　a：正　b：正　c：誤
ウ　a：正　b：誤　c：正
エ　a：誤　b：正　c：正
オ　a：誤　b：誤　c：正

本試験第9問

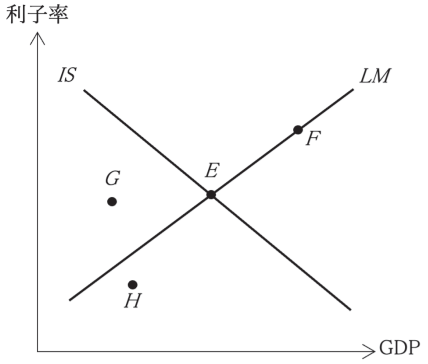
物価上昇率と利子率の関係に関する考え方にフィッシャー方程式がある。フィッシャー方程式に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

a　名目利子率は、実質利子率から期待物価上昇率を控除したものである。
b　名目利子率が上昇しても、これと同じだけ物価上昇率が高くなると、実質利子率は変化しない。
c　名目利子率が一定で将来の物価上昇が見込まれるとき、実質利子率は低下する。

〔解答群〕
ア　a：正　b：正　c：正
イ　a：正　b：正　c：誤
ウ　a：正　b：誤　c：正
エ　a：誤　b：正　c：正
オ　a：誤　b：正　c：誤

本試験第10問

下図は、*IS* 曲線と *LM* 曲線を描いている。この図に基づいて、下記の設問に答えよ。



（設問1）

この図に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

a　点 *E* では、生産物市場と貨幣市場が同時に均衡している。
b　点 *F* では、生産物市場は超過需要であるが、貨幣市場は均衡している。
c　点 *G* では、生産物市場は超過供給であり、貨幣市場は超過需要である。
d　点 *H* では、生産物市場は超過需要であり、貨幣市場は超過供給である。

〔解答群〕
ア　a：正　b：正　c：誤　d：誤
イ　a：正　b：誤　c：正　d：誤
ウ　a：正　b：誤　c：誤　d：誤
エ　a：誤　b：正　c：誤　d：正
オ　a：誤　b：誤　c：正　d：誤

（設問2）

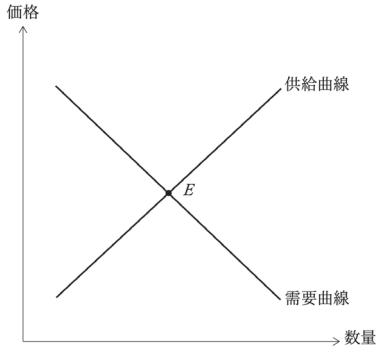
IS 曲線と *LM* 曲線に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

a　限界消費性向が大きいほど *IS* 曲線の傾きはより緩やかになり、貨幣供給の増加による GDP の拡大効果は大きくなる。
b　投資の利子感応度が小さいほど、*IS* 曲線の傾きはより急になり、貨幣供給の増加による GDP の拡大効果は小さくなる。
c　貨幣需要の所得感応度が大きいほど、*LM* 曲線の傾きはより緩やかになり、政府支出の増加による GDP の拡大効果は小さくなる。
d　貨幣需要の利子感応度が大きいほど、*LM* 曲線の傾きはより緩やかになり、政府支出の増加による GDP の拡大効果は大きくなる。

〔解答群〕
ア　a：正　b：正　c：誤　d：正
イ　a：正　b：誤　c：正　d：誤
ウ　a：正　b：誤　c：誤　d：正
エ　a：誤　b：正　c：正　d：誤
オ　a：誤　b：正　c：誤　d：正

1次上級答練第8問

下図はある財の供給曲線と需要曲線である。供給曲線と需要曲線のシフト要因と、均衡価格の変化に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。なお、点 E が初期の均衡を示している。 8

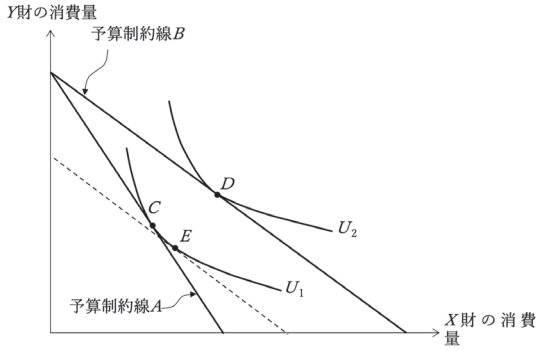


a　嗜好の変化によって、需要曲線が右方へシフトすると、均衡価格は上昇する。
b　ある財の代替財の価格の下落によって、需要曲線が右方へシフトすると、均衡価格は上昇する。
c　原材料費の下落によって、供給曲線が右方へシフトすると均衡価格は下落する。

〔解答群〕
ア　a：正　b：正　c：正
イ　a：正　b：誤　c：正
ウ　a：正　b：誤　c：誤
エ　a：誤　b：正　c：正
オ　a：誤　b：誤　c：誤

1次養成答練第5問

ある個人が限られた所得を有しており、X 財と Y 財を購入することができる。下図は、予算制約線 A と無差別曲線 U_1 が点 C で接する状況から、予算制約線 B と無差別曲線 U_2 が点 D で接する状況へと変化した様子を描いたものである。予算制約線 B と平行で無差別曲線 U_1 と接する補助線を引き、その接点をEとする。なお、所得の変化は生じていない。この図に関する記述として、最も適切な組み合わせを下記の解答群から選べ。 5



a　点 C から点 E への変化は、所得効果と呼ばれている。
b　点 E から点 D への変化は、所得効果と呼ばれている。
c　X 財は上級財、Y 財は下級財である。
d　X 財、Y 財ともに上級財である。

〔解答群〕
ア　aとc
イ　aとd
ウ　bとc
エ　bとd

本試験第12問

完全競争市場における、ある上級財の需要曲線と供給曲線のシフトに関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

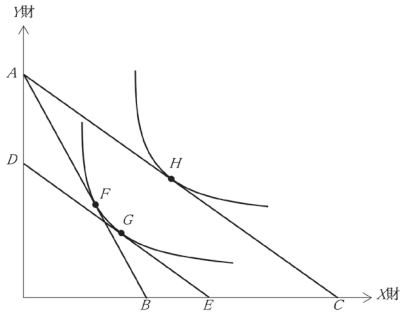
a　この財にとって代替的な財の価格が下落すると、需要曲線は右方向にシフトするが、供給曲線は変化しない。
b　消費者の保有する資産額が増加すると、需要曲線は左方向にシフトするが、供給曲線は変化しない。
c　この財を生産する企業に生産物1単位当たり定額の補助金が交付されると、供給曲線は左方向にシフトするが、需要曲線は変化しない。
d　この財を生産するに際しての原材料費が増加すると、供給曲線は左方向にシフトするが、需要曲線は変化しない。

〔解答群〕
ア　a：正　b：正　c：誤　d：正
イ　a：正　b：誤　c：正　d：誤
ウ　a：誤　b：正　c：誤　d：正
エ　a：誤　b：誤　c：正　d：誤
オ　a：誤　b：誤　c：誤　d：正

本試験第14問

ある家計が所得をすべて使って X 財と Y 財の消費に充てるものとする。当初、予算制約線 AB の下で、無差別曲線と接する点 F で最適消費が達成されていたが、X 財の価格が変化し、予算制約線が AC にシフトしたことで、無差別曲線と接する最適消費点は点 H に変化した。下図には、予算制約線 AB と点 F で接する無差別曲線に対して点 G で接する、予算制約線 AC と同じ傾きの直線 DE が描かれている。

この図に関する記述の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

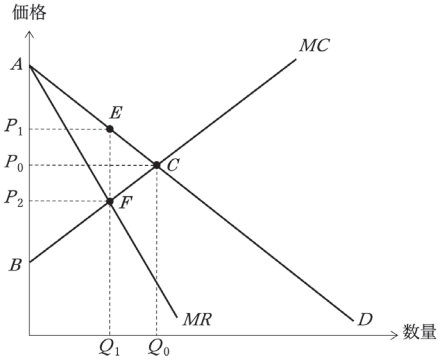


a　上級財である X 財の消費量は、代替効果で増加し、所得効果でも増加した。
b　下級財である X 財の消費量は、代替効果で減少し、所得効果でも減少した。
c　上級財である Y 財の消費量は、代替効果で減少し、所得効果では増加した。
d　上級財である Y 財の消費量は、代替効果で増加し、所得効果でも増加した。

〔解答群〕
ア　aとc
イ　aとd
ウ　bとc
エ　bとd

1 次養成答練第 11 問

下図は、独占企業が生産する財の需要曲線 D、限界収入曲線 MR、限界費用曲線 MC を示している。この図に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。 11

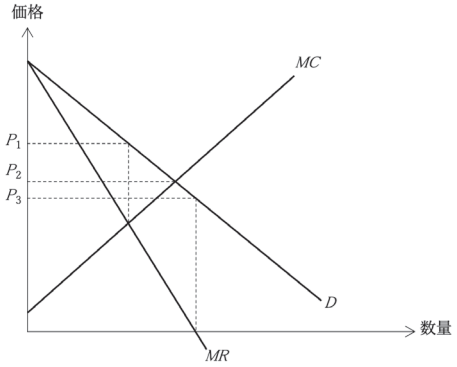


a　独占企業の利潤が最大になる生産量は Q_1 であり、そのときの価格は P_2 である。
b　独占企業が利潤を最大にするとき、消費者余剰は三角形 AP_1E で示される。
c　独占企業が利潤を最大にするとき、生産者余剰は三角形 P_2BF で示される。
d　独占企業が利潤を最大にするとき、三角形 EFC で示される死荷重が発生する。

〔解答群〕
ア　a：正　b：正　c：正　d：誤
イ　a：正　b：誤　c：正　d：正
ウ　a：誤　b：正　c：誤　d：正
エ　a：誤　b：正　c：誤　d：誤
オ　a：誤　b：誤　c：誤　d：正

本試験第 16 問

独占市場を示した下図において、この財の需要曲線が D で与えられ、MC が企業の限界費用、MR が同じく限界収入である。この独占企業が利潤の最大化を図る場合の価格と、総収入の最大化を図る場合の価格の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

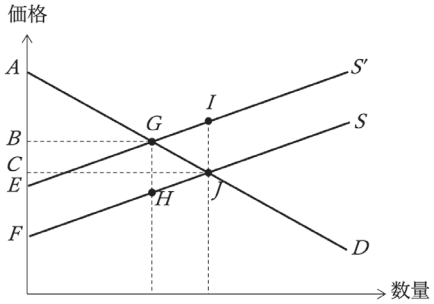


〔解答群〕
ア　利潤最大化：P_1　総収入最大化：P_2
イ　利潤最大化：P_1　総収入最大化：P_3
ウ　利潤最大化：P_2　総収入最大化：$P1$
エ　利潤最大化：P_2　総収入最大化：P_3
オ　利潤最大化：P_3　総収入最大化：P_2

1 次上級答練第 13 問

ある財の取引による地域住民の生活への悪影響に対して、政府が税を使って対処することの効果を考える。下図において、D はある財に対する需要曲線、S は生産者の私的限界費用曲線、S' はある財の取引における限界外部費用を含めた社会的限界費用曲線である。

この図に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。 14



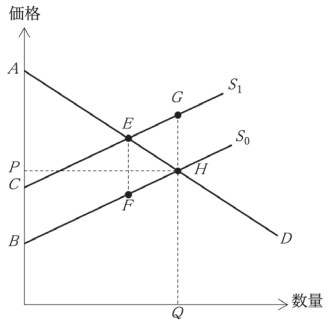
a　課税後の消費者余剰は三角形 ACJ で示される。
b　課税によって、外部不経済は四角形 $EFHG$ の分だけ減少する。
c　課税によって、この地域の総余剰は三角形 GJI だけ増加する。
d　課税によって、生産者余剰は四角形 $BCJG$ の分だけ減少する。

〔解答群〕
ア　a：正　b：正　c：正　d：正
イ　a：正　b：誤　c：正　d：誤
ウ　a：誤　b：正　c：誤　d：正
エ　a：誤　b：誤　c：正　d：誤
オ　a：誤　b：誤　c：誤　d：誤

本試験第 17 問

工場排水が自然環境と近隣住民の生活に悪影響を与えるような、生産活動に負の外部性が伴う場合の市場均衡を考える。下図には、需要曲線 D、私的限界費用曲線 S_0、社会的限界費用曲線 S_1 が描かれている。市場均衡は点 H で与えられ、均衡価格は P、均衡取引量は Q である。また、社会的な最適点は点 E である。

この図に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



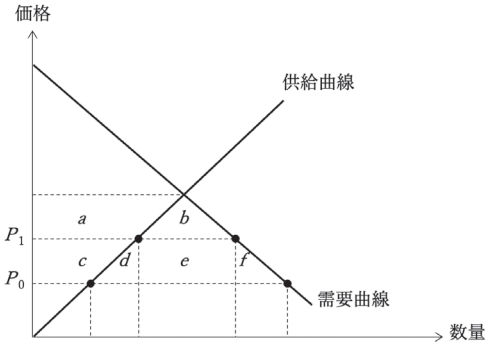
a　市場均衡の下での生産者余剰は、三角形 PBH である。
b　市場均衡の下での外部費用は、四角形 $EFHG$ である。
c　市場均衡の下で生じる厚生上の損失は、三角形 EHG である。
d　最適点が達成された場合の社会的余剰は、三角形 ACE である。

〔解答群〕
ア　a：正　b：正　c：正　d：誤
イ　a：正　b：正　c：誤　d：誤
ウ　a：正　b：誤　c：正　d：正
エ　a：誤　b：正　c：誤　d：正
オ　a：誤　b：誤　c：正　d：誤

1 次養成答練第 10 問

ある小国の立場から関税政策の効果を考える。下図は、当該財の国内供給曲線と当該財に対する国内需要曲線からなる。この小国において関税賦課前は国際価格で取引されており、その価格は P_0 であった。関税賦課後の価格は P_1 である。この図に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

10



a　関税賦課後、消費者余剰は（$a + b$）の分だけ減少する。
b　関税賦課後、生産者余剰は c の分だけ増加する。
c　関税賦課後、政府の関税収入は（$d + e + f$）である。
d　関税賦課後、社会的総余剰は b の分だけ減少する。

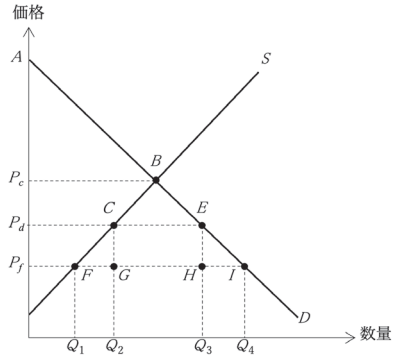
〔解答群〕
ア　a：正　b：正　c：正　d：誤
イ　a：正　b：誤　c：正　d：正
ウ　a：誤　b：正　c：誤　d：正
エ　a：誤　b：正　c：誤　d：誤
オ　a：誤　b：誤　c：誤　d：誤

本試験第 18 問（設問 2）

ある国際的に規格化された財に対する関税の効果を考える。国際市場で P_f の価格が成立している当該財の国内需要曲線は D、国内供給曲線は S である。したがって、貿易を行わない閉鎖経済の下では、Pc の市場価格が成立する。

当初、この国では当該財について自由貿易体制がとられていたが、輸入財 1 単位当たり一定の関税が賦課されたことで、国内価格は Pd に上昇することになった。

この図に基づいて、下記の設問に答えよ。



（設問 2）

自由貿易から関税政策に移行したことの効果に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

a　輸入量の減少分は、線分 Q_1Q_2 と線分 Q_3Q_4 の合計である。
b　消費者余剰は、自由貿易体制の場合に比べて四角形 P_dP_fIE だけ小さくなる。
c　関税による政府の収入は、四角形 P_dP_fHE である。
d　関税の導入に伴う厚生上の損失は、四角形 $CFIE$ である。

〔解答群〕
ア　a：正　b：正　c：誤　d：正
イ　a：正　b：正　c：誤　d：誤
ウ　a：正　b：誤　c：正　d：誤
エ　a：誤　b：正　c：正　d：誤
オ　a：誤　b：誤　c：誤　d：正